

# 知財関連資格の取得と 活用のすすめ

2020年12月 5日

金井 隆雄

日本技術士会登録 知財コンサルティングセンター(PCIP)勉強会資料

# 本日の内容

---

## 1. 自己紹介

## 2. 知財関連資格の紹介

弁理士、知的財産管理技能士、AIPE認定知的財産アナリスト、  
ビジネス著作権検定、知的財産翻訳検定、技術士

## 3. 資格活用に向けて

## 4. 具体例の紹介

## 5. まとめ

前半の資格の紹介に続き、後半では、会社等の組織に所属しながら資格を活用する方法について、意見交換をさせていただければ幸いです。

# 自己紹介

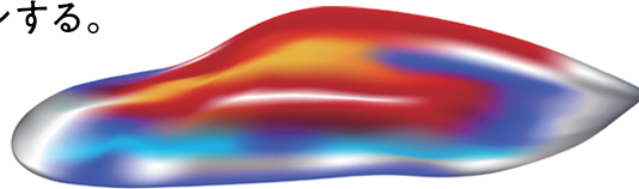
---

氏名： 金井 隆雄(かない たかお)

所属： 日本製鉄株式会社 知的財産部

担当業務： 自動車鋼板とその利用技術分野の  
知的財産戦略策定と実行推進、  
各種技術提携

使命。  
クルマの未来を、  
デザインする。



[日本製鉄HPより]

# 自己紹介(2)

---

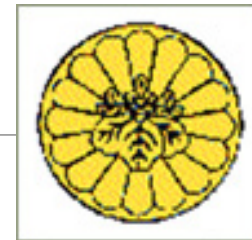
保有資格：一級知的財産管理技能士(特許専門業務)  
技術士(化学部門、総合技術監理部門)  
博士(工学)、技術経営修士(専門職)

主な活動：

- ・日本技術士会登録  
知財コンサルティングセンター(PCIP)会長
- ・日本技術士会 神奈川県支部 CPD支援小委員会委員
- ・蔵前工業会 蔵前技術士会幹事(情報管理者)
- ・日鉄技術士会(社内技術士会)

※ 決して多くの資格を保有しているのでも、資格オタクでもありません。

# 知財関連資格：弁理士



## 1. 弁理士とは

弁理士は、「知的財産に関する専門家」です。

主な業務は、

- ① 知的財産権について特許庁への手続き、
  - ② 知的財産権の取得や他社権利侵害の相談等の助言、コンサルティング、
  - ③ 知的財産権侵害訴訟に、補佐人として、または訴訟代理人として参加する、など
- (日本弁理士会HPより抜粋して引用)

## 2. 試験

### (1) 短答式筆記試験

(特許法・実用新案法、意匠法、商標法、条約、著作権法・不正競争防止法)  
合格後2年間はすべての科目の試験が免除される。

### (2) 論文式筆記試験

- ① 必須科目 工業所有権に関する法令(特許・実用新案、意匠、商標)
- ② 選択科目 理工I(機械・応用力学)、理工II(数学・物理)、理工III(化学)  
理工IV(生物)、理工V(情報) 法律(弁理士の業務に関する法律)から1科目選択

### (3) 口述試験 工業所有権(特許・実用新案、意匠、商標)に関する法令

# 知財関連資格：弁理士(2)

---

## 3. 合格率（令和元年度）

志願者数 3,862人（前年度 3,977人）

受験者数 3,488人（前年度 3,587人）

合格者数 284人（前年度 260人）

合格率（合格者数/受験者数） 8.1%（前年度 7.2%）

## 4. 資格取得のメリット

- ・ 知的財産の専門家として認められる。
- ・ 特許庁における出願等の手続きができる（専権業務）。
- ・ 事務所を開業する場合には取得しておくことが望ましい。
- ・ 特許庁の手続き、訴訟関係を除き、資格は必要とされない。
- ・ 事務所や企業では、資格の有無は関係ない場合も多い。

# 知財関連資格：知的財産管理技能士



知的財産管理  
技能士会

Certified Specialist  
Association of  
Intellectual Property  
Management

## 1. 知的財産管理技能士とは

- 知的財産管理技能士は、国家資格で、知的財産管理技能検定の合格者にのみその称号が与えられる**名称独占資格**である。
- 知財マネジメントに関する技能の習得レベルを公的に証明することができる。
- 技能検定は、習得レベルに応じて1級から3級の区分あり（試験の難易度が異なる）。
- 1級は専門分野によって、「特許専門業務」、「コンテンツ専門業務」、「ブランド専門業務」の3つの分野に区分される。

## 2. 試験(知的財産管理技能検定)

いずれも、学科試験と実技試験（いずれも筆記試験）。

1級の実技試験には口頭試問あり。

(知的財産管理技能士会、知的財産管理技能検定HPより抜粋して引用)

# 知財関連資格：知的財産管理技能士(2)

技能検定 職種	等級 区分	選択作業	技能検定の合格に必要な技能及びこれに関する知識 の程度
知的財産 管理	1級	特許専門業務	知的財産管理の職種における <b>上級の技能者</b> (知的財産管理に関する <b>業務上の課題の発見と解決</b> <b>を主導することができる技能と専門的な知識</b> )
		コンテンツ専門業務	
		ブランド専門業務	
	2級	管理業務	知的財産管理の職種における <b>中級の技能者</b> (知的財産管理に関する <b>業務上の課題を発見し</b> 、知的財産管理の技能及び知識を有する <b>上司の指導の下で</b> 、また <b>外部専門家等と連携して</b> 、その課題を解決でき、 <b>一部は自律的に解決できる技能と基本的な知識</b> )
	3級	管理業務	知的財産管理の職種における <b>初級の技能者</b> (知的財産管理に関する業務上の <b>課題を発見し</b> 、知的財産管理の技能及び知識を有する <b>上司の指導の下で</b> 、また <b>外部専門家等と連携して</b> 、その課題を解決することができる <b>技能と初歩的な知識</b> )



# 知財関連資格：知的財産管理技能士(3)

## 3. 技能検定の合格率

第36回(2020年7月実施分)

試験種	申込者数	合格者数
1級(特許)学科	—	—
1級(コンテンツ)学科	108	12
1級(ブランド)学科	96	8
1級(特許)実技	55	45
1級(コンテンツ)実技	—	—
1級(ブランド)実技	—	—
2級学科	1,856	655
2級実技	1,886	590
3級学科	3,170	2,103
3級実技	2,980	2,061

第34回(2020年7月実施)

試験種	申込者数	合格者数
1級(特許)学科	535	46
1級(コンテンツ)学科	—	—
1級(ブランド)学科	—	—
1級(特許)実技	—	—
1級(コンテンツ)実技	42	23
1級(ブランド)実技	—	—
2級学科	2,084	907
2級実技	2,067	823
3級学科	3,109	2,172
3級実技	2,943	2,306

## 4. 資格取得のメリット

- ・ 知財マネジメントスキルの習得レベルを公的に証明できる。
- ・ 組織：知財マネジメント能力 が向上  
個人：知財に関するコミュニケーション能力 が向上
- ・ 弁理士と比較して知財マネジメントを重視、その意味では実務に近いか？

# 知財関連資格：AIPE認定知的財産アナリスト

## 1. AIPE認定知的財産アナリストとは

- ・ 企業経営・ファイナンス・知的財産に関する専門知識を有し、
- ・ 国内外の各種知的財産関連情報の収集・分析等、知的財産あるいは企業の価値評価等を通じて、
- ・ 企業の戦略的経営に資する情報を提供できる**スキルを持つ職種**。
- ・ 特許、コンテンツの2つの専門領域あり。

## 2. 資格の認定を受けるためには

- ・ 「知的財産アナリスト認定講座」を受講、
- ・ 全科目を範囲とした「認定試験」を受け、合格すること。
- ・ 特許領域の資格認定を受けるにあたっては、知的財産管理技能士（一級、二級）、弁理士、技術士等の**国家資格が必要**。

(知的財産教育協会HPより抜粋して引用)

# 知財関連資格：AIPE認定知的財産アナリスト(2)

## 3. 認定者数

専門領域	認定者数
特許	942名 (2020年10月現在)
コンテンツ	196名 (2020年2月現在)

## 4. 資格取得のメリット

- ・ 企業等において、知財的側面だけでなく経営戦略にも関与。
- ・ 経営活動に知的財産活動を結びつける、知的財産の価値評価ができる人としての評価を受けられる。
- ・ 外部専門家であれば、企業に対して的確で有効なアドバイスができる。
- ・ 認定講座の受講料が比較的高価である。
- ・ 活躍できるかどうかは企業の方針に依存する。

## 1. ビジネス著作権検定とは

著作権に関する知識について、基礎的な理解、具体的な事例判断での応用力を測定する民間検定試験。サーティファイ著作権検定委員会が実施。

## 2. 検定試験

- ・ 初級と上級があり、いずれもマークシート式の筆記試験。
- ・ 初級は著作権に関する基礎的知識、上級は著作権に関する基礎的知識と事例における問題点発見と解決能力についての応用力。
- ・ 合格率はかなり高い。

## 3. 認定を受けるメリット

- ・ 著作権を理解していることを対外的にアピールできる。
- ・ 業務上、私生活の両面で役立てることができる。
- ・ 「知的財産管理技能検定」の受験資格として認定される。

# 知財関連資格：知的財産翻訳検定

## 1.知的財産翻訳検定とは

- ・ 知的財産に関する翻訳能力を客観的に測るための検定試験。
- ・ 特定非営利活動法人日本知的財産翻訳協会が2004年12月より実施。

## 2.検定試験

- ・ 1級～3級の区分あり。合格者の氏名と答案が公開される（非公開も可）

【1級】 知的財産分野における専門職業翻訳者として推薦できるレベル

- (1) 知財法務実務、(2) 電気・電子工学、(3) 機械工学、(4) 化学、  
(5) バイオテクノロジーの5分野以下の分野から選択する。／記述式試験

【2級】 明細書翻訳の基本を理解し実務に堪える力があると認められるレベル  
一般的な技術内容（技術分野選択なし）、特許明細書翻訳力を問う出題、  
完全記述式

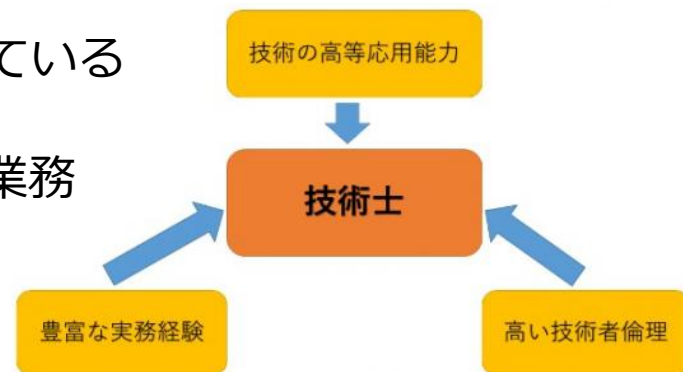
【3級】 入門者・初心者レベル

知財英語についての基礎知識の有無を問う出題（技術分野選択なし）  
一部記述式、一部マークシートから選択式(選択式については日英混合)

# 知財関連資格（おまけ）：技術士

## 1. 技術士とは

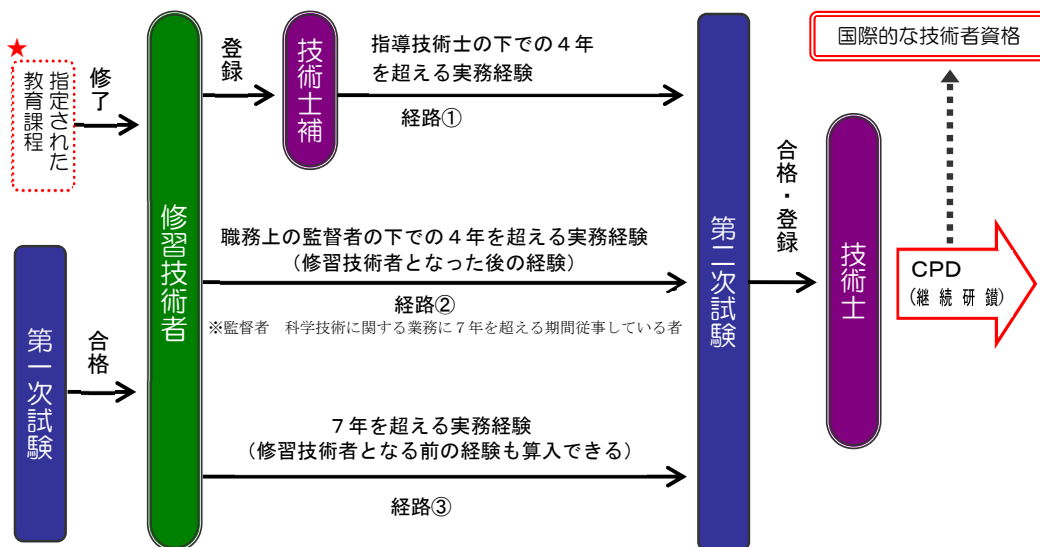
- ・ 科学技術に関する高度な知識、応用能力を備えていることを認められた技術者の国家資格
- ・ **技術士の称号を使用し**登録した技術部門の技術業務を行うことができる。
- ・ 「技術士法」により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務。



(日本技術士会HPより引用)

## 2. 試験

- ・ 一次試験、二次試験に分けて技術部門ごとに実施される。
- ・ 指定された教育課程を修了した場合には一次試験が免除される。
- ・ 第二次試験は、筆記試験と口頭試験により行われる。



# 知財関連資格（おまけ）：技術士(2)

## 3. 合格率

### [一次試験]

	申込者数 A(名)	受験者数 B(名)	合格者数 C(名)	C/A (%)	C/B (%)
平成30年度	21,228	16,676	6,302	29.7	37.8
令和元年度	22,073	13,266	6,819	30.9	51.4

### [二次試験]

		申込者数 A(名)	受験者数 B(名)	合格者数 C(名)	C/A (%)	C/B (%)
平成30年度	1～20 部門	28,701	22,635	2,146	7.5	9.5
	総合技術 監理	4,043	3,279	209	5.2	6.4
	計	32,744	25,914	2,355	7.2	9.1
令和元年度	1～20 部門	26,800	21,146	2,329	8.7	11.0
	総合技術 監理	3,890	3,180	490	12.6	15.4
	計	30,690	24,326	2,819	9.2	11.6

# 資格活用に向けて(1)

---

現在の状況や将来計画によって異なるが、活用に向けて取り組んでおきたい点として、下記が考えられる。

## (1) 資格活用のためのスキルアップ

専門分野を極める

コンサルであれば、営業活動（の準備）も必要

## (2) 最新情報・動向の把握

技術動向、業界動向、法改正情報など

### [具体的活動例]

- ・ 資格者団体への参加

日本弁理士会、知的財産管理技能士会、日本技術士会など

- ・ 各種セミナー・勉強会への参加、展示会等での情報収集



# 資格活用に向けて(2)

---

## (3) 幅広い情報の収集

専門領域を少しずつ拡大する。

隣接する領域、関連する領域まで、のイメージ？

## (4) 知り合いを増やす（人脈をつくる）

身近なグループ、興味あるグループに参加するのが手っ取り早いかも。

### [具体的活動例]

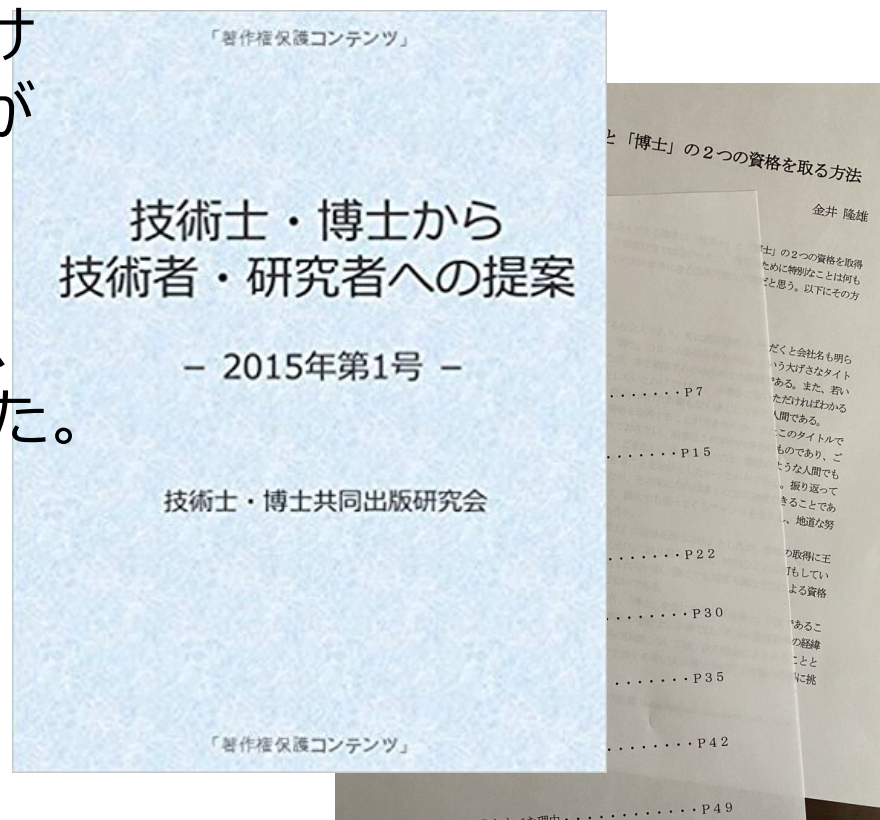
- ・ 技術士の例でいえば、  
企業内技術士会、出身大学の技術士会、あるいは知財コンサルティングセンターなどに参加。
- ・ セミナー、勉強会等の情報も入手しやすい。
- ・ 幹事・委員などで参加するのもお勧めです。

# 具体例の紹介 書籍の出版

## \* 書籍「技術士・博士から技術者・研究者への提案」

- 7名が執筆  
(技術士・博士4名、技術士2名、博士1名)
- 面識があったのは1人だけ
- 発起人を核にして関係者が集まった

\* 本はほとんど売れなかったが、貴重な経験をすることができた。



# 具体例の紹介(2) 知財コンサルティングセンターの紹介 (宣伝)

## 知財コンサルティングセンター (PCIP)

会長 (全体統括)

セミナー、勉強会の企画・運営実行

設立目的：シンクタンク (非営利組織)

参加資格：制限なし (企業勤務者も可)



## 技術知財経営支援センター (MOT-IP)

- ・ コンサルタントとしてのスキルアップ (セミナー、勉強会の開催)
- ・ MOT-IPが業務を円滑に進めるための情報提供、課題解決支援

設立目的：コンサルティング (営利組織)

セミナー企画・開催、技術・知的財産調査 etc.

参加資格：独立した士業

皆様のご参加をお待ちしています。  
幹事も募集中！

# まとめ（提言）

---

資格取得をきっかけとして、

- ・ より一層専門性を高め、
- ・ 多くの人たちとの交流を通して、
- ・ 専門スキルの向上を図り、

それぞれの将来に向けた歩みを進めることを願っています。

ご清聴ありがとうございました。

